

# 戦後詩誌総覧

和田 博文・杉浦 静 編

## ② 戦後詩のメディアⅡ 「詩学」「詩と批評」「詩と思想」

A5・870頁 定価(本体28,000円+税)  
ISBN978-4-8169-2077-6 2008年12月刊行



## ③ 戦後詩のメディアⅢ 「ユリイカ」「歷程」

A5・540頁 定価(本体28,000円+税)  
ISBN978-4-8169-2078-3 2009年1月刊行



### 戦後詩誌の全貌を記録した総目次集

●1945～1975年に国内で発行された詩誌113誌/3,200冊の総目次集(全8巻)、第2回と第3回配本。いつ、誰が、どの詩誌に、何を発表したのかを調査することができます。

- ②巻では「詩学」「詩と批評」「詩と思想」の4誌/395冊\*
- ③巻では「ユリイカ」「歷程」の3誌/322冊\*の内容細目を収録。  
\*改題前誌など関連誌を含む

●各詩誌の解題と詳細な目次、編集者・発行所・定価のほか、装幀や掲載図版・カット・掲載されている広告の情報までも記載しています。

●口絵に、その巻に収録されている詩誌の表紙写真(カラー)と、編集委員による「詩史的概説」を掲載。「人名索引」「書名索引」付き。

●和田 博文(東洋大学教授) 杉浦 静(大妻女子大学教授) 編。

好評既刊



### 戦後詩誌総覧

① 戦後詩のメディアⅠ 「現代詩手帖」「日本未来派」  
A5・800頁 定価(本体28,000円+税) ISBN978-4-8169-2076-9 2007.12刊  
「世代」「現代詩手帖」「花」「日本未来派」の4誌/367冊を収録

#### 【収録詩誌の特徴】

##### 戦後詩誌総覧(月) 戦後詩のメディア(監)

「詩学」 1947年8月～2007年9月。全330冊。詩学社発行。1947年城左門が詩学社を設立し創刊。文学的综合誌を目指し、英米詩人からも寄稿を仰いだ。戦後初めて「現代英米詩選」を発行。改題前誌は「ゆとびあ」。

「詩と批評」 1966年5月～1968年12月。全31冊。昭森社発行。編集発行人は森谷均。詩人の自由な発表機関としての役割を果たし、新進気鋭の詩人の紹介も積極的に行った。

「詩と思想」 1972年10月～1975年2月。全27冊。土曜社発行。井手則雄、村岡空、澤村光博らが、詩と批評の総合詩誌として創刊。進歩的な傾向が強く、戦後詩の思想的再検討、日本モダニズム批判などの特集を組んだ。

##### 戦後詩誌総覧(火) 戦後詩のメディア(企)

「ユリイカ」 第1次(1956年10月～1961年2月)。全53冊。書肆ユリイカ発行。戦後詩人の積極的な発言の場を設け、優れた作品を紹介することを意図して創刊。

第2次(1969年7月～)。全89冊。青土社発行。詩を中心にしながら隣接領域である美術、音楽、演劇などを視野に入れた、多様な特集主義をさらに徹底している。

「歷程」 1947年7月～。全180冊。歷程社発行。1935年に草野心平らによって創刊。1944年に一度中断したが、草野心平の努力により戦後1947年に復刊された。詩と美術、音楽、演劇等の芸術一般との交流を目指し様々な活動を行っている。

\*収録の2誌は現在まで続いているが、「戦後詩誌総覧」には1975年までを収録しています。

2020.6

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	②戦後詩のメディアⅡ 「詩学」「詩と批評」「詩と思想」 定価(本体28,000円+税) ISBN978-4-8169-2077-6	冊
		③戦後詩のメディアⅢ 「ユリイカ」「歷程」 定価(本体28,000円+税) ISBN978-4-8169-2078-3	冊
		■お名前	

詩学

→ゆうとびあ

詩学

詩集「秋風への回想」について 小林善  
 梅花襖記 岡田宗毅 55  
 発足 扇谷義男 56~57  
 『現代詩』の立場 杉浦伊作 59~60  
 抒情について 詩風土編輯室 60  
 私の意図してゐる方向 門田穰 61~62  
 FOUの覚え書 62~63  
 癡者 吉村英夫 63  
 編輯後記 城左門 64  
 社告 編集部 64

〔発行〕発行兼編輯人は岩谷満。印刷人は楠末洋  
 東京都中央区日本橋室町四ノ三。定価は18円

〔注記〕表2に、島崎藤村の詩集3冊の書影及び解  
 回詩人賞選定についてのお知らせ。「詩学(岩谷満)名による告知。

〔図版〕表1及び表4装画は、東郷青児。

〔広告〕54頁に、田中冬二著『三國峠の大蠟燭を  
 保詩集(全詩集)』・佐々木信綱著『おもかげ(詩  
 告)を掲載。表3に『現代詩叢書』第一期十冊の

第1巻第2号 1947年9月30日発行

詩信 西條八十 1  
 〈目次〉詩学 第二号(通巻八号) 2~3  
 呼びとめられて 西脇順三郎 4~11  
 庭——九四五年の絵帖より—— 神保光太郎  
 ハリー・ロスコレンコ詩抄—詩集「私は田舎へ行  
 な鏡 廢墟 道徳を含め定義 哲学の基礎  
 ロスコレンコについて 安藤一郎 17  
 詩と言葉 金田一京助 18~22  
 詩的美 西脇順三郎 23~27  
 詩壇時評 (無署名) 28~29  
 絵から見た詩 山口長男 30~32  
 季節の地図 久井茂 31  
 格言 安西冬衛 33  
 夏 瀧口武士 34  
 海への道 瀧口武士 35  
 お前の魂を 野村英夫 36  
 彼方へ 人見勇 37  
 北の国の夜は霧の幸なり… 原條あき子  
 降誕祭 枝野和夫 38~39  
 昼の月 秋谷豊 40~41

解題

〔書誌〕全330冊(目次化分)。創刊1947年8月~2007年9月(通巻678号)。ただし、2005.4は休刊のため60巻4号は欠号。なお、本総覧での目次化は第30巻第11号(1975年11月30日発行)まで。〔復刻〕なし。〔所蔵〕日本近代文学館〔目次欠号〕なし。

〔内容〕1946年9月~1947年5月に6冊刊行された『ゆうとびあ』が改題されて創刊された。発行所は岩谷書店。「発行兼編輯人」は岩谷満である。岩谷書店は、当時探偵小説雑誌『宝石』をも刊行していた。発行所は、1951年1月号から「独立採算制」になって詩学社となり、編集発行人も稲並昌幸(稲並昌幸は城左門の本名)となった。以後通巻678号の最終号まで、発行所は詩学社。

第一号の目次には、「詩学(ゆうとびあ改題)」と掲げられ、「第一号(通巻七号)」として、「ゆうとびあ」を継承したものとなっている。しかし、それ故の混乱も生じ、47年10月刊の第三号は、目次では「第三号(通巻第九号)」となり、前号に連続しているが、奥付には、「第二巻第六号十月号」とあり、前号の「第一巻二号九月号」にはつながらない記述となっている。これは、第三号が、「ゆうとびあ」からの連続の意識に引かずられたための誤記であろうと思われる。「ゆうとびあ」の最終号の巻号は、「第二巻第三号」であった。改題されずに連続していれば、九月号は、まさに「第二巻第六号」となるべきものであったのである。この混乱も次号までで収束し、以後、通巻の号数は「ゆうとびあ」と引き継いだまま、「詩学」としての巻号が重ねられている。

第一号には、編集長の城左門が、改題の挨拶を「『ゆうとびあ』を改題して本号から御覧の如く『詩学』と称する。」と記し、さらに、「『詩学』の目的」を、「詩壇の公器的存在たらしめ」るばかりでなく、「単なる詩壇の雑誌であるに止どまらず、広く、文学的総合誌たらしめ」と明確にした。編集は、城左門が編集長を長くつとめ、以後、木原孝一・嵯峨信之・岡田幸文・篠原憲二と続き、最後は寺西幹仁がつとめた。(本総覧目次化の最後になる1975年12月号でも、城左門が編輯後記を記している。)

『詩学』の編集方針は、この基本姿勢にしたがい、戦前に詩人としての地歩を固めた詩人たちから、戦後に詩的出発を遂げた新人まで、幅広い年代の詩人の詩を掲げるばかりでなく、欧米詩の紹介や批評、日本近代詩についての研究的評論をも多く掲載し、まさに詩の総合誌性格を遺憾なく発揮し、60年代頃までの戦後の詩の一つの牽引役をも果たした。

1948年6月刊の9号には「詩学研究会について」という告知を掲げ、詩学研究会を発足させ、会員の作品を掲載して、新人の育成をはかった。「詩学研究会について」には、「詩壇は常に新らしき新人を待望している。しかしながら真に新らしき詩人は偶然に出現するものではない。その時代を背景とした歴史的必然のなかに生まれる。本誌は茲に詩壇の公器たる自負と光栄との上に詩学研究会を組織し、

解題により、各詩誌の概要がわかる

収録作品名、作者、頁などの詳細目次、および編集者・発行所・定価、注記、装幀、カット・写真・掲載された広告情報を記載

■ 戦後詩誌総覧 全8巻構成

- |                               |             |       |
|-------------------------------|-------------|-------|
| ① 戦後詩のメディア I「現代詩手帖」「日本未来派」    | ●4誌367冊を収録  | 第1回配本 |
| ② 戦後詩のメディア II「詩学」「詩と批評」「詩と思想」 | ●4誌395冊を収録  | 第2回配本 |
| ③ 戦後詩のメディア III「ユリイカ」「歷程」      | ●3誌322冊を収録  | 第3回配本 |
| ④ 第二次世界大戦後の〈実存〉と〈思想〉          | ●31誌402冊を収録 | 第4回配本 |
| ⑤ 感受性のコスモロジー                  | ●27誌496冊を収録 | 第5回配本 |
| ⑥ 1950年代の〈日常〉と〈想像力〉           | ●21誌502冊を収録 | 第6回配本 |
| ⑦ 言葉のラディカリズム                  | ●27誌604冊を収録 | 第7回配本 |
| ⑧ 60年代詩から70年代詩へ               | ●32誌784冊を収録 | 第8回配本 |